

# 一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信  
令和6年12月13日 第27号  
発行；校長 村上謙一

## 【サポーター登録について】

12月4日、おかげさまで29人目のサポーターのご登録をいただきました。その際、「そんなに気軽にできるのですね。活動の内容がよくわからなかったので迷っていました。他にもそんな方がいると思いますよ。」と教えていただきました。そこで、今回はサポーター活動の実際について、お示しさせていただきます。

### 1 目的

- ・困っている子に寄り添い、「何か私にできることある？」と声をかけ、子どもの心に大人の安心感と信頼感を育てる。
- ・学校の小さな応援団を、いろんなところにたくさんつくる。学校教育の当事者として、地域に育つ子供を地域の学校で育てる活動の発信者となる。

### 2 活動

- ・細く長く活動していくために、活動日や時間、回数、活動内容などを定めない。
- ・少なくとも月に1回程度は活動に参加していただきたいが、強制するものではない。
- ・隙間時間に、地域の物である学校に、地域の大人として、教職員と対等の立場で、地域の子どもに関わる。隙間時間なので1時間でも15分でもよい。
- ・業務ではないので、子どもへのかかわりについて責任は伴わない。教職員が目や手が届かない隙間を埋める意識で活動する。プール監視や草抜き、枝払い、花壇整備等も活動に含む。
- ・活動中の不測の事故に備え、市のボランティア保険に加入する。手続きは学校が行う。掛金は市が負担する。(他の市のボランティア活動で、既にボランティア保険に加入されている方は新たに加入する必要はない)

サポーターの活動は上記のとおりです。ぜひ校長室にお越しください。もう少し細かくお話しできます。また、いつでもご登録を受け付けていますし、ご質問だけのご訪問も歓迎します。電話も大歓迎です。よろしくお願ひします。



## 【マラソン大会のご感想をお寄せください】

12月3日(火)開催のマラソン大会について、大勢の保護者の皆様のご参観をいただきました。ありがとうございました。

今回の大会は、子どもたちの当事者意識と主体性を育むべく、開催の是非、その企画と運営を子どもたちにゆだねる大きなチャレンジでした。保護者・地域のみなさまはご覧になられて、どのような感想をお持ちになられたでしょうか。下のQRコード読み込み、またはアドレスをクリックしていただいて皆様のお声をお届けください。なお、集計の都合上ご回答は12月31日を締め切り日とさせていただきます。



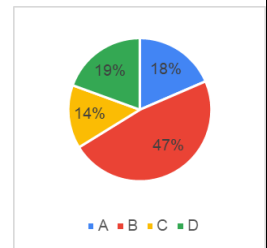
クリックで回答ページにとびます

<https://forms.gle/878WdiQjNJR5vmXRA>

## 【マラソン大会児童アンケート集計結果(抜粋)】

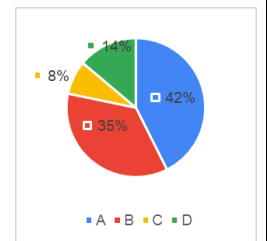
1. 学級会の「マラソン大会」の話し合いで、私は自分の考えを述べられた。

- |            |     |
|------------|-----|
| A とてもそう思う  | 18% |
| B そう思う     | 47% |
| C できなかった   | 14% |
| D 全くできなかった | 19% |



2. 「マラソン大会」をどうするかについて、自分たちで決められてよかった。

- |             |     |
|-------------|-----|
| A とてもそう思う   | 42% |
| B そう思う      | 35% |
| C そう思わない    | 8%  |
| D 先生に決めてほしい | 14% |



子ども基本法(R5.4 施行)に記される「最善の利益の追求」と「意見表明の機会」について、今年マラソン大会を切り口にして取り組んでみましたが、中学年の児童も回答してくれたので、今回は意見表明の機会がなかった中学年は「できた」とも「自分たちで決められてよかった」とも思えない回答が含まれています。それでも大多数の児童が肯定的に受け止めている結果が出ました。